平成27年度事務事業実績評価表 政策								2	施策No.		業No.	49 -	6	
事務事業名 伊那谷文化芸術祭共催事業								会計 業種別	一般会 可 政策	計 開始	実店 S38	施区分 終了		
H28	担当課等	名 文化会館	Ĩ	H28係等名 事	業係		17/			業係	500	11× 1		
基本	本計画上			によるこころ豊か	な人づくり									
の作	立置づけ	施策	27 文化芸	手術の振興						~8374 任		05/25	*************************************	
目的	対象(記	単・ 何を)	飯田市民			(a) (mr. /)	対が		指標名及び単位				<u>要数値</u> [743	
	意図(どういう状態 にするか)		①市民が演ずる舞台芸術活動を身近に鑑賞す芸術に関する日頃の練習成果を発表する ③3 員と出演者が協力し文化芸術祭を企画・運営			協会役	4	(打	作計人口) 			101		
	向上させ策の成場	けたい上位施 果指標	文化芸術に親しむ印氏の割合(%・増やす)											
	種別		指標名及び単位			F度計画	27年度	実績	28年度計画	28年度見込み	度見込み 備考		(更など)	
目標	成果 人口に対す 指標 (*1/ <i>)</i>		る鑑賞者率(%) (ロ)			8.2	7.8	8 8.3		8				
	成果 指標	出演者数()	()			2000	1800		2100 2000					
	定性 目標													
				マチュア舞台芸術	が団体が一堂に会会 が一堂に会会 をおります。 をおります。 をおります。 をおります。 をおります。 をおります。 をおります。 とおります。 をおります。 とおります。 	会し、活	動の成	果を多	発表し、交流	する機会と	して11	月の日・	・祝日の	
	4日間開催している。 この芸術祭には、合唱、器楽、吹奏楽、オーケストラ、邦楽、舞踊、ダンス、バレエ、和太鼓、演劇										ないジ	ャンルが	ぶ参加し	
	熱演を繰り広げている。											1 - / - 10	> NH U	
事 運営は、飯田文化協会が企画し、当日は参加団体選出の多数のスタッフが運営を担っている。														
業													ļ	
要														
安														
										ļ				
									h #1.			JT #1 .!!!		
	笙 90回	事業区 と芸術祭	(Î	開催日	1 数	名称		1) 4日	活動指標	票				
			日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)			2	ンテー	テージ数			リ 4 ロ ② 74ステージ			
			と楽、吹奏楽、オーケストラ、邦楽、舞踊、ダンス					温演者数			③ 1,788人			
27	エ、和ス	K 鼓、) () () () ()	人形劇など			①鑑賞者数 ②運営従事者?				④ 7,373人 ⑤ 257人				
年)Æ A W	C 31 / 1	双	© 251				
度														
事業														
木内														
容										ļ				
	事業:		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額		度予算物		·	特定財源内	訳、補	足		
事		(千円)①	0	0	()		0						
	国庫支出金							\dashv						
	県支出金 起債					1		_						
		E慎 の他						\dashv						
	一般財源		0	0		0		0						
<u> </u>	人件費計(千円)②		_	0										
正規職員所要時間						1								
		所要時間				1							ļ	
	総事業		0	0	(o o						
		平成2		こ比べて、出演団	体数は増加して	いるが、	出演者	数で	は83人減少	いた。これり	は、ダン	ンス・バレ	/エの出	
事業内容・目 標達成状況 演団体が減少したことによる。														
の振り返り														
の問題 出演団体数が横ばい状態となっている。														
山川 超														
	以 告	点												
の考			舞台芸術団体、 ^会 く。	学校への積極的な	☆呼びかけを行い	、普段(の練習)	成果を	を発表する場	易として <u>参加</u>	しても	らえるよ	うにして	